

単元のゴール

- ・ 蹴ることにより攻撃をしたり、捕ることにより守備をしたりして、攻守を交代するゲームをする。(技能)
- ・ 運動に進んで取り組み、規則を守り仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。(態度)
- ・ 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりできるようにする。(思考・判断)

単元に係る児童の実態 (技能)

児童は、3年生の時にミニサッカーの学習を行っている。その学習を通して、ボールを蹴るという基本的な操作を経験している。しかしながら、狙ったところに強く蹴る技能はまだ十分に身に付けていない。また捕球する際、手だけを伸ばし捕りに行こうとし、うまく捕球できない児童もいる。

単元に係る児童の実態 (態度)

体育の授業は好きですか。			
好き	まあ好き	まあ好きではない	好きではない
20人	6人	3人	0人
キックベースでやってみたいことは何ですか			
試合をやりたい			6人
蹴る力、守る力を高めたい			5人
チームのみんなと協力したい			4人

多くの児童は体育を好きと感じている。「あまり好きでない」と答えた児童はキックベースの授業で「技能の向上」や「友達との協力」を望んでいることがわかった。

単元に係る児童の実態 (思考・判断)

児童は、これまでの学習で、自分の動き方を確認し、守備位置を変えたり、得点できそうな位置へ動いたり、状況に応じた判断が少しずつできるようになってきた。運動の得意な子が苦手な子にコツや練習の方法を伝える場面や、男女に関わらず教え合いをする様子が見られた。しかし、学習カードの振り返りの記述では、具体的に記述できる児童は少ない。

授業のねらいと指導内容及び願う子供の姿

時	◎授業のねらい ○指導内容	◆各時間終了後の願う子供の姿
1	◎学習の見直しをもとう ○学習の進め方、慣れの運動の仕方 ○用具の準備の仕方	◆用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。
2	◎ボールを強く蹴ろう ○フェアグラウンド内に蹴ること ○強いボールの蹴り方	◆ボールをフェアグラウンド内に蹴ったり、強く蹴ったりすることができる。
3	◎ボールの捕り方を覚えよう ○向かってくるボールの正面に移動すること	◆向かってくるボールの正面に移動することができる
4	◎自分の役割の守備位置に動こう ○個々の特徴から守備位置(役割)を考える ○①投力がある子は外野②アウトゾーンに入る子	◆自分の役割に応じた守備位置を選んでいる。
本時	◎チームの課題を考え、チーム練習をしよう ○課題をとらえ、その練習方法を選ぶ	◆チームの課題に応じて練習方法を選んでいる。
6	◎チームの課題解決のためのチーム練習をしよう ○課題をより深め、練習をする。	◆課題解決のためのボール操作ができたり、役割に応じた守備位置に移動したりすることができる。
7	◎Hey!和カップをして、ゲームを楽しもう ○キックベース大会	◆キックベースの楽しさにふれ、進んで取り組もうとしている。

単元のゴール (技能)

- ・ ボールをフェアグラウンド内に蹴ることができる。
- ・ 向かってくるボールの正面に移動することができる。
- ・ ベースに向かって走り、かけ抜けることができる。

単元のゴール (態度)

- ・ ベースボール型ゲームの楽しさにふれ、進んで取り組もうとしている。
- ・ 規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしたり、ゲームの勝敗の結果を受け入れたりすることができる。
- ・ 用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。

単元のゴール (思考・判断)

- ・ チームの課題に応じた練習方法を選んでいる。
- ・ 役割に応じた守備位置を選んでいる。
- ・ よりよい守備位置について考えている。

教師の指導観 (技能)

キックベースボールのおもしろさを味わわせるために、試しのゲームで身に付けたい動きを体験させ、自分の実態を把握させる。そして、「もっとたくさん得点を取りたい。」という願いをもたせる。さらに、蹴・捕・守に必要な体の動きを体験させ動きの感覚をつかませ、技能を高めるための「学びの時間」を位置付ける。

教師の指導観 (態度)

友達同士で励まし合い、教え合い、認め合う言葉かけを大切にしていく。チームごとに慣れの運動や話し合いを行う中で、言葉かけを多く行う子やチームを称賛し、全体へ広めていく。用具の準備や後片付けを協力して行う中で、勝敗に固執するのではなく、互いのプレーを認め合ったり、失敗を励まし改善点を教え合ったりする活動を通してチームワークも大切であることを理解させるようにする。

教師の指導観 (思考・判断)

メインゲーム後の話し合いでは、チームの課題やチームの練習方法の具体例をカードで提示し、児童の思考の手助けとなるようにし、一人ひとりが意欲的に練習できるようにする。また、誰がどの守備位置につくのか、どう動くのかを明確にさせることで、アウトを取りやすい動きをより判断しやすいようにする。

学習過程

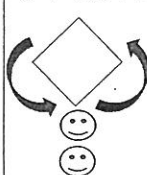
時	1	2	3	4	本時	6	7	
5	オリエンテーション	集合・整列・健康観察・挨拶・準備運動						
15	・ 学習の約束 ・ 学習の進め方 ・ 学習カードの使い方 ・ 準備の仕方 ・ ボール慣れ ・ 慣れの運動の仕方 ・ ICTを活用した上手なプレーの紹介 ・ 試しのゲーム	慣れの運動 (ベースランニング、キャッチ&キック) ねらい① 蹴り方・捕り方・守り方を身に付けて、キックベースを楽しもう。			ねらい② チームの課題を見つけて、練習しよう。		Hey!和 カップ キック ベース大会	
40		学びの時間 蹴る	学びの時間 捕る	学びの時間 守る	メインゲーム第1試合			
		メインゲーム第1試合 話し合い・練習 メインゲーム第2試合 振り返り			チーム練習の時間			
					メインゲーム第2試合			
	学習のまとめ・次時の予告・整理運動・挨拶・後片付け							

ストーリーデザイン

- 1時間目**
- 1 学習のねらいと進め方を知り、単元の見通しをもつ。
 - 2 準備運動、慣れの運動の行い方を知る。
 - 3 ゲームの行い方を知る。
- 2～4時間目**
- 1 慣れの運動を行う。
 - 2 学びの時間（蹴る・捕る・守る）で基礎技能を身に付ける。
 - 3 メインゲームを行う。
 - 4 学習を振り返る
- 5～6時間目**
- 1 慣れの運動を行う。
 - 2 メインゲームを行う。
 - 3 チーム練習をする。
 - 4 メインゲームを行う
 - 5 学習を振り返る。
- 7時間目**
- 1 トーナメント戦を行う
 - 2 単元を通してのまとめをする。


本時の慣れの運動

○ベースランニング



- ・ホームからスタートし1周したらタッチして交代
- ・ベースの踏み方、膨らんで走ることを意識させる。

○キャッチ&キック



- ・2人1組
- ・ボールを置いて蹴り、ペアがキャッチ・
- ・ゴロのボールを蹴る。
- ・蹴る、蹴る技能を意識させる。

本時の目標 チームの課題に応じて練習方法を選んでいる。 【思考】

段階	本時の流れ 学習活動	指導上の留意点 (○指導◆評価規準△努力を要する児童への手立て)
導入	1 集合・整列・健康観察をする。	○素早く集合し、元気に挨拶できるようにする。
	2 チームごとに準備運動	○全員の顔色を見て健康観察を行い、身支度を整えさせる。
	3 慣れの運動をする。	○可動域の広がりや本時主に活用する部分丁寧に行えるように声がけをする。
展開	4 本時のねらいを確認する。	○一つ一つの動きを丁寧に行わせ、よい動きの児童を称賛する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> チームの課題を解決するにはどんな練習をしたらよいのだろうか。 </div>	
	5 メインゲーム①を行う。	○課題に応じたチーム練習をするという意識を持たせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【ルール】 ・5対5（または4対4）で行う ・1周したら攻守交替。（1回裏表で1試合。） ・各塁に進塁するごとに1点とする ・アウトは塁上もしくはアウトゾーンでキャッチ。 </div>	○よい動きやチームメートへの励ましの言葉をかけている児童を称賛する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【チーム課題の例】 ・どうやって動けばいいかわからない。 ・ボールをうまく取れない。蹴れない。走れない 等 </div>	○チームのうまくいかなかったところを意識させる。また、課題の把握が苦手なチームに助言する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【練習方法の例】 ・作戦ボードによる役割の確認と動き方の練習 ・捕球練習、蹴る練習、走塁練習。 </div>	○メインゲーム①の結果を基に自分たちの課題について話し合わせることで練習目的を明らかにさせ、方法を選ばせる。 ○勝敗に固執するのではなく、互いのプレーを認め合ったり、失敗を励まし改善点を教え合ったりすることを意識させる。 ○どんな練習をしたらよいかわからないチームには、練習の具体例を示す。 ○各チームを回り、積極的に助言する。 ○作戦ボードを活用させ、動き方を具体的にイメージさせる。	
7 メインゲーム②を行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ◆チームの課題に応じて練習方法を選んでいる。 【思考】 </div>	○チーム練習で行ったことがうまくできないチームには、作戦ボードを活用し、動き方を再確認させる。
まとめ	8 学習カードを記入する。	【努力を要する児童（チーム）への手立て】 △チームの課題例の資料を示し、助言する。
	9 学習のまとめをする。	【十分満足にできると判断できる児童（チーム）への発展的な内容】 ○チームの課題に正対する練習方法が選べるように助言する。
	10 次時の予告を聞く。	○チーム練習で行ったことがうまくできないチームには、作戦ボードを活用し、動き方を再確認させる。
	11 整理運動をする。	○今日うまくいったこと・いかなかったことをカードに記入させる。
	12 挨拶をする。	○本時のねらいに沿って学習を振り返る。

主体的学び

「蹴る・捕る・守る」技能を高めるための「学びの時間」を設定することで技能習得を保障し、楽しくゲームに取り組めるようにする。ファイトコールや作戦タイム、メインゲーム等、仲間との活動を通してキックベースの楽しさにふれ、意欲を高められようとする。

→

対話的学び

チーム練習や作戦タイムの時間を設定し、チーム課題や練習方法を選ぶ時間を確保することで対話的に学習に取り組めるようにする。その際「どこがうまくいかなかったのか」と常に問いかけることで、「解決したい」という思いを高め、必然性のある対話となるようにする。

深い学び

- ・授業1時間1時間のねらいを明確にし、児童に示すことで、今日のゴールの具体像をもたせる。
- ・「うまくいかなかった」ことを大事にし、「なぜか」を追及させることで課題解決方法を考えたり練習に意欲的に取り組んだりさせる。

→

願う子供の姿

- ・蹴る・捕る・守るなどの技能を身に付け、攻守を交代するゲームを楽しむ姿。
- ・運動に進んで取り組み、規則を守り仲間く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる姿。
- ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた適度な作戦を立てたりできる姿。

今後の展開

- 6時間目**
- チームの課題解決のためのチーム練習をする。
- 【身に付けさせたいこと】**
- 課題解決のためのボール操作ができたり、役割に応じた守備位置に移動したりすること。
- 7時間目**
- 仲間と協力して、キックベース大会を楽しむ。
- 5, 6年生との接続
- 小学校5, 6年生で学習する内容は以下の通りである。
- 【攻撃に関する技能】**
- ・止まったボールや易しく投げられたボールをフェアグラウンド内に打つこと。
 - ・塁間を打球の状況に応じて走塁すること。
- 【守備に関する技能】**
- ・打球方向に移動し、捕球すること。
 - ・捕球する相手に向かって、オーバーハンドで投げること。
- 一人一人を伸ばす 上位層下位層に向けて
- 【上位層に向けての手立て】**
- ・ボールの蹴り方や捕球の仕方、守備の動き方を仲間言葉で伝えさせる。
- 【下位層に向けての手立て】**
- ・よいプレーをお手本にし、チームの課題を意識させて練習させる。